

令和 3 年度 条例予算特別委員会

主要事業概要

○ 令和 3 年度の重要施策	1 頁
○ 令和 3 年度の特徴ある事業	3 頁
○ 道路整備	
・ 道路整備アクションプラン 2024	11 頁
・ 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）	13 頁
・ 福岡高速 3 号線延伸事業	15 頁
・ 自転車活用の推進	17 頁
・ 交通安全対策	19 頁
○ 河川整備	
・ 治水対策事業（主要な河川整備）	21 頁
○ 下水道整備	
・ 下水道経営計画 2024	23 頁
・ 下水道施設のアセットマネジメント（改築更新）	26 頁
・ 雨水整備 D o プラン 2026（新たな重点 33 地区）	27 頁
・ 雨水整備レインボープラン天神	29 頁
・ 地震対策	31 頁
（参考）	
・ 道路現況、河川整備状況、下水道普及状況	33 頁
・ 道路下水道局における整備予算の推移	35 頁
・ 令和 3 年度 主な新規着手・整備完了予定箇所	37 頁

令和 3 年 3 月

道路下水道局

令和3年度 道路下水道局 重要施策

道路下水道局 当初予算 総括表

上段< >書きは、令和2年度2月補正を含む14ヵ月予算。

(単位：百万円)

区分	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	前年度比較 (A-B)	対前年比 (A/B)
一般会計	<50,941> 45,576	50,111	<830> △ 4,535	<101.7%> 91.0%
道路	<28,826> 23,684	26,864	<1,962> △ 3,180	<107.3%> 88.2%
河川	<1,856> 1,633	1,949	<△93> △ 316	<95.2%> 83.8%
下水道事業負担金等	20,259	21,299	△ 1,040	95.1%
駐車場特別会計	1,868	580	1,288	322.1%
下水道事業会計	<119,757> 118,429	114,808	<4,949> 3,621	<104.3%> 103.2%

※四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある。



道路整備

令和3年度
(千円)

令和2年度
(千円)

対前年比

【道路整備アクションプラン2024 (R3~R6)、福岡市自転車活用推進計画 (R3~R6) に基づき事業を実施】

	<6,553,589>		<259.8%>
○ 幹線道路整備	3,682,189	(2,522,511)	146.0%
・福岡高速3号線延伸			
・都市計画道路 長尾橋本線等の整備推進			
・天神通線の整備～天神地区の混雑緩和～ 等			
○ 生活道路整備	2,598,001	(3,061,022)	84.9%
・市民生活に密着した道路拡幅や側溝整備 等			
・海辺を活かした観光振興に向けた道づくり			
・博多旧市街プロジェクト～歴史・文化に配慮した道づくり～			
・天神ビッグバンの奥座敷(西中洲)～情緒ある路地空間の創出～			
○ 交通安全施設整備	<6,338,065> 5,029,565	(5,916,450)	<107.1%> 85.0%
・通学路等の安全対策、道路のバリアフリー化、無電柱化、自転車通行空間整備、駐輪場整備、直営灯LED化、オープンデータ等を活用した交通安全対策の検討 等			
○ 連続立体交差事業	<784,762> 684,762	(1,925,713)	<40.8%> 35.6%
・西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅付近)			
○ 直轄工事費負担金	689,000	(689,000)	100.0%
・国道202号 等			
○ 道路施設のアセットマネジメント	<3,753,908> 2,891,532	(3,014,755)	<124.5%> 95.9%
・道路アセットマネジメント、橋梁アセットマネジメント			

第9次 福岡市基本計画

生活の質の向上と都市の成長の好循環を創り出す

道路下水道局 運営方針

市民の安全・安心を守り 都市の魅力に磨きをかける



河川整備

	令和3年度 (千円)	令和2年度 (千円)	対前年比
--	---------------	---------------	------

	<742,056>		<92.6 %>
--	-----------	--	----------

○ 治水対策	724,056	(801,554)	90.3 %
--------	---------	-------------	--------

- ・都市基盤河川及び準用河川の改修等（周船寺川、水崎川、金屑川 等）

○ 局地的豪雨対策	15,000	(20,000)	75.0 %
-----------	--------	------------	--------

- ・護岸の改良や河床の洗掘防止等（大谷川）

○ 環境整備	30,000	(43,000)	69.8 %
--------	--------	------------	--------

- ・水辺空間を活用したうるおいや親しみのある整備（名柄川）

	<475,933>		<100.0 %>
--	-----------	--	-----------

○ 河川施設のアセットマネジメント	270,933	(476,085)	56.9 %
-------------------	---------	-------------	--------

- ・排水機場などのアセットマネジメント（吉塚新川排水機場 等）



下水道整備

	令和3年度 (千円)	令和2年度 (千円)	対前年比
--	---------------	---------------	------

【下水道経営計画2024（R3～R6）に基づき事業を実施】

	<17,166,947>		<108.0 %>
--	--------------	--	-----------

○ 下水道施設のアセットマネジメント	16,110,147	(15,893,967)	101.4 %
--------------------	------------	----------------	---------

- ・下水道管や水処理センター等のアセットマネジメント（城浜ポンプ場、西部水処理センター 等）
- ・都心部の下水道システムの再構築

○ 浸水対策	4,852,588	(5,325,295)	91.1 %
--------	-----------	---------------	--------

- ・雨水管の整備（中部9号幹線） 等

	<3,179,000>		<121.1 %>
--	-------------	--	-----------

○ 地震対策	2,907,880	(2,625,500)	110.8 %
--------	-----------	---------------	---------

- ・下水管の耐震化（比恵1号幹線） 等

○ 未整備区域の解消	2,206,400	(1,695,238)	130.2 %
------------	-----------	---------------	---------

- ・下水管の整備（香椎照葉 等）

○ 合流式下水道の改善	980,065	(476,000)	205.9 %
-------------	---------	-------------	---------

- ・浸水対策と連携した浸透側溝整備（天神周辺地区） 等

○ 再生水利用	339,000	(242,000)	140.1 %
---------	---------	-------------	---------

- ・再生水管の整備（今泉） 等

特色ある事業：都市の成長

1 都心部の機能強化と魅力づくり

都心部である天神地区、博多駅周辺地区において推進するまちづくりとあわせて、それぞれの地区の特性に応じた道路機能の強化に取り組みます。

天神地区関連



①天神通線 ～天神地区の混雑緩和～

天神地区における交通混雑の緩和やバスの定時性確保などを図るため、沿線のまちづくりと一体となって都市計画道路天神通線の整備に取り組みます。



<3,048,000千円>
予算 1,748,000千円
(道路計画課)

整備イメージ (明治通り～昭和通り)



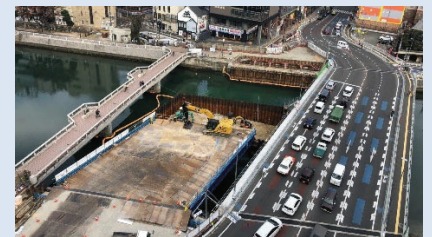
②春吉橋賑わい空間の創出

国が整備する国道202号春吉橋架替の迂回路橋を活用した賑わい空間の創出に取り組みます。

整備イメージ



予算 47,749千円
(道路計画課)



※国による国道202号春吉橋架替工事状況 (R2.12時点)

③天神ビッグバンの奥座敷(西中洲) ～情緒ある路地空間の創出～

西中洲地区の魅力づくりに向けた石畳による道路整備と景観誘導※に取り組みます。

※については、住宅都市局にて計上



予算 83,000千円
(道路計画課)

④天神ビッグバンボーナスの隔地駐車場運用開始【新規】

天神ビッグバンボーナスの認定を受けたビルが、附置義務駐車場を隔地するにあたり、競艇場の駐車場を活用します。(令和3年秋開始) 運営については、エリアマネジメント団体との共働を検討します。

予算 2,986千円
(駐車場施設課)



博多駅周辺地区関連



⑤博多旧市街プロジェクト ～歴史・文化に配慮した道づくり～

予算 172,300千円
(道路計画課)

博多部において、価値ある資源をストーリーとまちなみでつなぎ、「博多旧市街」エリアとして、市民や観光客が認知し楽しんでもらえる環境を整え、魅力を高めていくプロジェクトに取り組んでいます。歴史資源や名所をつなぎ、趣のある道路として再整備します。

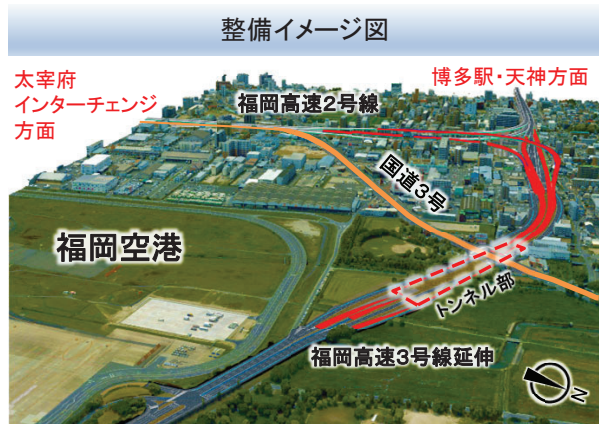


2 福岡高速3号線延伸事業【新規】

福岡空港へのアクセス強化

予算188,759千円
(高速道路推進課)

福岡空港の滑走路増設等の機能強化を見据え、福岡市の南部地域や太宰府方面から空港へのアクセス強化による利便性向上を図るため、福岡高速3号線の延伸事業に着手します。
(事業主体：福岡北九州高速道路公社)

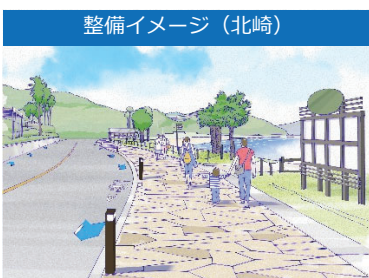


3 Fukuoka East & West Coastプロジェクト

海辺を活かした観光振興に向けた道づくり

予算 147,750千円
(道路計画課)

海辺の観光周遊コースの形成に向けて、志賀島地区、北崎地区の美しい海辺空間としての魅力を最大限高めるため、豊かな自然環境と調和した道路整備に取り組みます。



4 都心部の浸水対策の推進

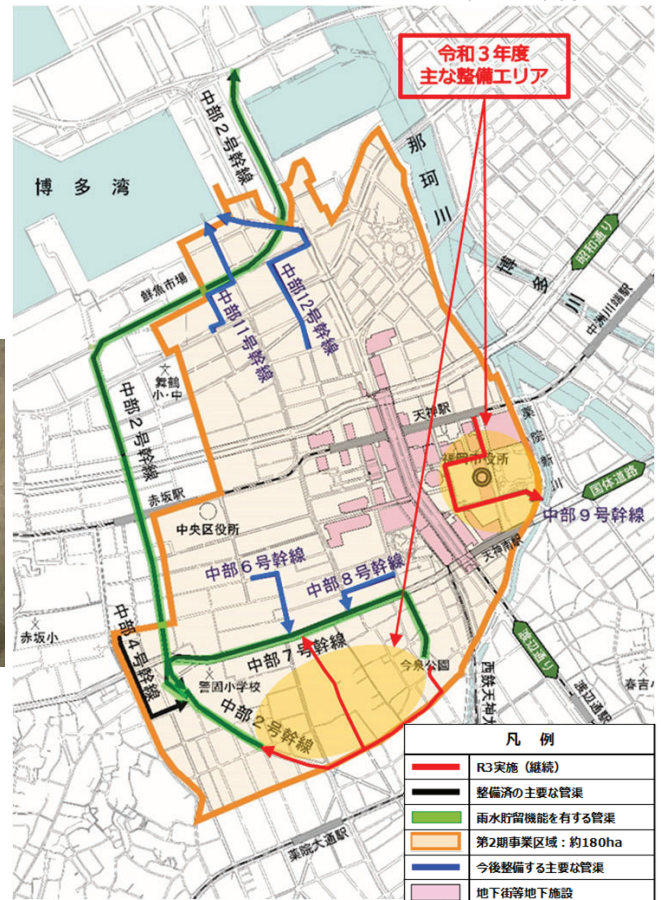
「雨水整備レインボープラン天神」第2期事業

都心部である天神周辺地区は、地下空間利用が高度に進み、都市機能が集積していることから、浸水による影響が極めて大きいため、雨水対策を強化した「雨水整備レインボープラン天神」第2期事業（R1年度～R8年度）に基づき、引き続き、浸水対策に取り組めます。

予算2,526,528千円
(下水道事業調整課)



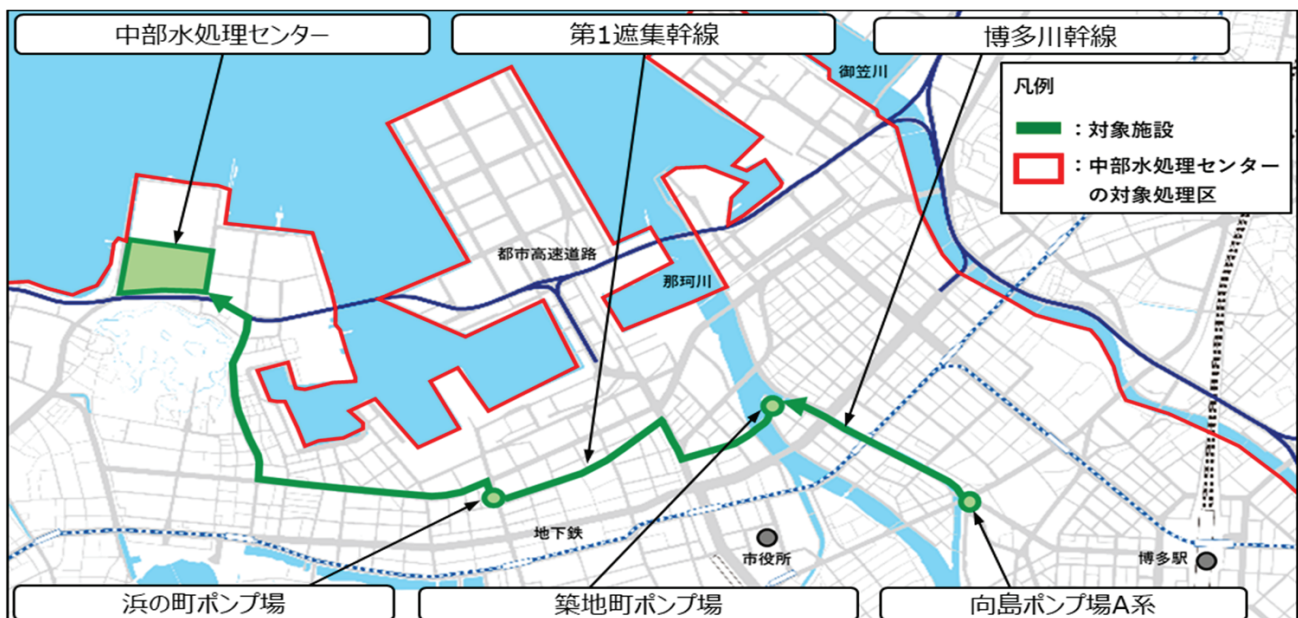
▲中部2号幹線（内径5.00m）



5 都心部の下水道システムの再構築【新規】

天神地区や博多駅周辺など都心部の下水道施設は、供用後概ね50年以上経過し老朽化が進んでいることから、当該地区の汚水処理を担う中部水処理センター及びこれに直結する幹線管渠やポンプ場について、改築更新等を行う再構築の検討に取り組めます。

予算130,000千円
(下水道計画課)



6 交通安全対策【拡充】



「福岡市通学路交通安全対策プログラム」に基づき、学校、保護者、地域、各関係機関が連携・協力し、引き続き通学路の交通安全対策に取り組むとともに、小学校から半径250m以内の道路においても、誰もが安心して歩ける歩行空間の整備を重点的に取り組みます。また、全国的な交通事故の状況を踏まえ、引き続き交差点等の交通安全対策を実施します。さらに、オープンデータ等を活用した交通安全対策の検証結果を踏まえ、試行的に対策を実施します。

<3,372,579千円>
 予算 2,374,579千円
 (道路計画課)



7 無電柱化の推進



「福岡市無電柱化推進計画(令和元年度策定)」に基づき、「防災」、「安全・円滑な交通確保」、「景観形成・観光振興」の観点から、引き続き、無電柱化を計画的に推進します。また、無電柱化の推進にあたっては、低コスト手法の導入に取り組みます。

<1,428,000千円>
 予算 1,112,500千円
 (道路計画課)

<整備事例>

<令和3年度主な整備予定箇所>

- ・都市計画道路 国道3号線
- ・県道松原比恵線
- ・市道清水干隈線
- ・主要地方道福岡志摩前原線



8 西鉄天神大牟田線の高架化(雑餉隈駅付近)

ざっしょのくまき



令和4年8月の高架切替を目指した事業の推進

西鉄雑餉隈駅付近において、踏切による交通渋滞や事故を解消し、鉄道によって分断された地域を一体化するなど、交通の円滑化と良好な住環境を形成するため、鉄道の高架化を進めます。

<784,762千円>
 予算 684,762千円
 (雑餉隈連続立体交差課)



特色ある事業：生活の質の向上

9 路面下空洞調査の推進



道路を安心して安全に利用できるように、路面下空洞調査を計画的に実施し、道路陥没の未然防止を図ります。

予算 95,000千円
(道路維持課)

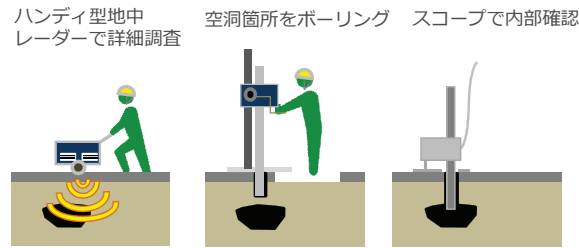
一次調査

路面下に異常がないか調査を実施します。



二次調査

ハンディ型地中レーダー等で詳細な調査を行い、空洞の状況を確認します。



10 自転車活用の推進



自転車通行空間整備の推進

自転車を安全かつ円滑に通行させ、また自動車と歩行者の安全を確保するため、原則として車道に自転車通行空間の整備を推進します。

予算 259,300千円
(自転車課)

整備事例

<令和3年度主な整備予定箇所>

- ・ 県道後野福岡線（日赤通り）
- ・ 国道385号
- ・ 市道清水干隈線（福大通り）



駐輪場整備の推進

まちづくりにあわせた駐輪場確保や放置自転車対策として、駐輪場の整備を推進します。

予算 410,600千円
(自転車課)

<令和3年度主な整備予定箇所>

- ・ (仮称) 七隈線中間駅駐輪場
駐輪台数：約300台
供用時期：令和4年度（予定）



情報提供の拡充

ホームページ（チャリエンタウン）や情報通信技術等を活用して、自転車利用者への駐輪場の位置や料金、混雑状況などの情報提供の拡充に取り組みます。

予算 1,250千円
(自転車課)



24 天神ふれあい通り自転車駐輪場



住所 > 天神1丁目8
台数 > 自転車375台
時間 > 6:00~24:30
料金 > 1日1回100円
3時間無料





1 1 治水対策の推進

治水対策の根幹である河川改修等の推進

大雨による河川の氾濫を防止し、浸水被害の軽減を図るため、護岸の整備などの河川改修や雨水の流出抑制を目的とした治水池の整備などを推進します。

<979,573千円>

予算 961,573千円

(河川計画課)

河川改修

河道拡幅や河床掘削を行うことで、流下能力を向上させ河川の氾濫を防止します。

<整備事例>



<令和3年度主な整備予定箇所>

- ・周船寺川
- ・金屑川

治水池整備

雨水を一時的に貯留することで、豪雨時の河川への負担を軽減します。



<令和3年度主な整備予定箇所>

- ・道手池 (地質調査)
- ・源蔵池 (測量)

1 2 浸水対策の推進



下水道

大雨に強い安全・安心なまちづくり

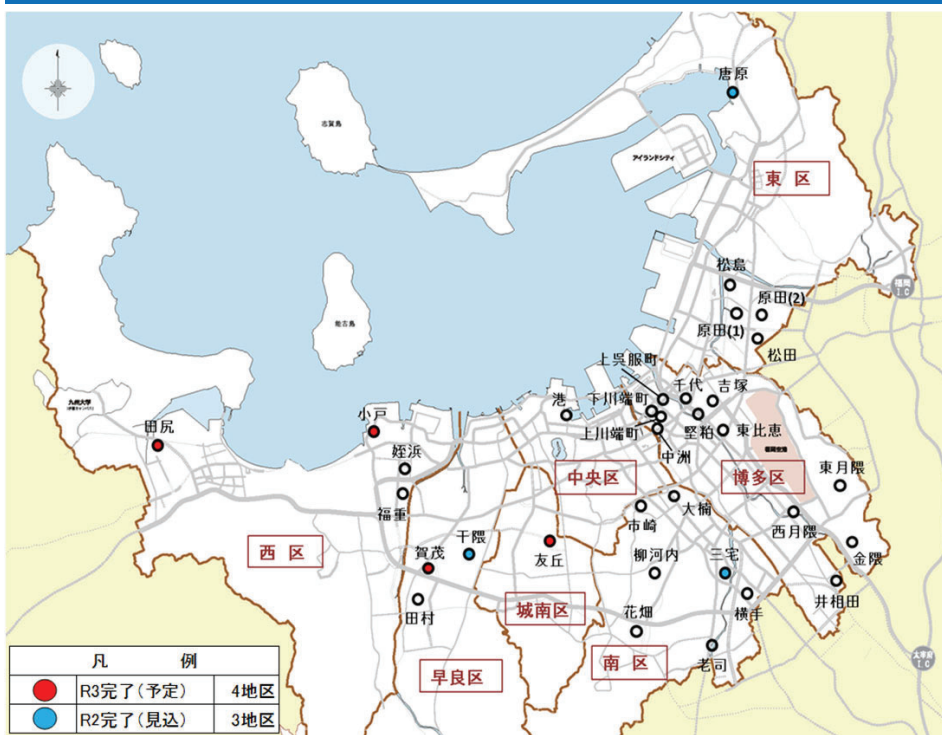
予算1,176,560千円

(下水道事業調整課)

平成11年6月29日の豪雨で、浸水被害が重大であった地区について、重点的に雨水対策に取り組んできました。令和元年度からは、重点地区を拡大し策定した「雨水整備Dプラン2026」に基づき、引き続き、雨水対策を進めます。

また、激甚化・頻発化する豪雨に対応するため、下水道施設の「耐水化」にも取り組みます。

「雨水整備Dプラン2026」 重点33地区



耐水化のイメージ (止水板の設置)



▲平常時



▲止水板 設置時

特色ある事業：生活の質の向上

13 アセットマネジメントの推進

道路・河川・下水道施設の予防保全型の維持管理の推進

市民の安全で快適な生活に欠かせない、道路・河川・下水道施設の老朽化が進み、今後、多くの施設が更新期を迎え、膨大な更新費用が必要となります。

従来の事後保全型の維持管理から計画に沿った予防保全型の維持管理へ転換し、施設の長寿命化と財政負担の低減・平準化を図ります。

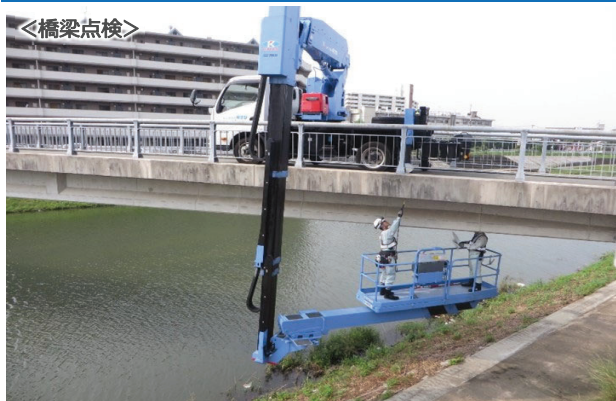
道路のアセットマネジメント

<3,753,908千円>
予算 2,891,532千円
(道路維持課)

5年に一度の定期点検結果等を踏まえた、予防保全型の修繕等を実施します。

- ・対象施設
橋梁、トンネル、横断歩道橋、アンダーパス 等

定期点検状況



橋梁補修



橋梁点検作業の効率化を図るため、ドローン等の新技術を活用した点検を実施します。

橋梁点検





<475,933千円>
 予算 270,933千円
 (河川計画課)

河川のアセットマネジメント

河川管理施設である護岸、排水機場及び水門などの老朽化に伴う更新費用の増大に対応するため、計画的な更新・修繕により、ライフサイクルコストの縮減や投資の平準化を図りつつ、施設の延命化を図ります。

施設更新 (博多区吉塚: 吉塚新川排水機場)



下水道のアセットマネジメント

<20,345,947千円>
 予算 19,018,027千円
 (下水道事業調整課)

処理場やポンプ場の老朽化した設備などについて、予防保全型の改築更新を実施します。

また、下水管の埋設時期、管種及びTVカメラによる劣化状況調査などにより、改築更新を計画的・効率的に実施します。

特に、都心部は下水道整備時期が早いことから、重点的に取り組みます。また、改築更新と連携して、重点的に下水道施設の耐震化を推進します。

テレビカメラ調査



下水管の改築更新

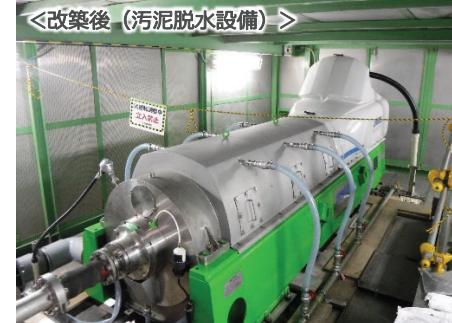


▲古くなった下水管

処理場の改築更新



▲内側から改築した下水管



道路整備アクションプラン2024

○道路整備の基本的な考え方・主要施策

令和8年度までの新たな道路整備の基本的な考え方	令和3年度からの4年間で取り組む主要施策
ビジョン1：ユニバーサル都市・福岡を実現する道づくり	
1. 人に優しい道づくり	1-1 道路のバリアフリー化 ※ 拡充 1-2 <u>誰もが安心して歩ける歩行空間の整備や通学路の安全対策</u> ※ 拡充 1-3 <u>効率的・効果的な交通安全対策</u> ※ 拡充
2. 公共交通を活かす道づくり	2-1 総合交通体系の構築を支える道路整備 2-2 バス利用環境の改善
3. 自転車と共生する道づくり	3-1 自転車通行空間のネットワーク強化 3-2 放置自転車対策 3-3 使いやすい駐輪場の確保にあわせた路上駐輪場の段階的な廃止
ビジョン2：都市の魅力に磨きをかける道づくり	
4. 経済活動を支える道づくり	4-1 自動車専用道路の整備 4-2 幹線道路の整備 4-3 ボトルネック箇所の改善 4-4 連続立体交差事業の推進
5. <u>まちづくりや多様なモビリティに対応した道づくり</u>	5-1 拠点のまちづくりと連携した道路空間の整備 5-2 民間ビル等の建替えと一体となった道路空間の整備・活用・維持管理 5-3 駐車施策の推進 5-4 <u>多様なモビリティに対応した道路空間の検討</u> ※ 新規
6. FUKUOKAを楽しむ道づくり	6-1 <u>誰もが歩きたくなる歩行空間の整備・活用</u> ※ 拡充 6-2 景観と調和した道路空間の整備 6-3 わかりやすい道案内への取り組み
ビジョン3：<u>市民の暮らしを守る道づくり</u>	
7. 災害に強い道づくり	7-1 緊急輸送道路の整備 7-2 無電柱化の推進 ※ 拡充 7-3 狭あい道路拡幅整備の推進
8. 環境に配慮した道づくり	8-1 道路照明灯のLED化 8-2 排水性舗装・透水性舗装の整備 8-3 道路緑化
9. 次世代に繋ぐ道づくり	9-1 道路施設・橋梁の計画的補修による長寿命化 9-2 道路の効率的・戦略的な維持管理 ※ 拡充
10. みんなで守り育む道づくり	10-1 防犯灯のLED化の促進 10-2 市民等との共働による道路環境の保全 10-3 道路利用の適正化 10-4 <u>市民等による道路の見守り</u> ※ 新規 10-5 わかりやすい広報・広聴活動

※波線の箇所については、現プランからの変更箇所

1. 道路整備アクションプラン2024（R3～R6）の状況

成果指標		令和2年度末 見込	令和3年度 事業量	令和3年度末 予定	令和6年度末 目標
生活関連経路のバリアフリー化された割合※1	%	91.6	2.1	93.7	99
整備のべ延長	km	35.9	0.8	36.7	39.0
小学校周辺の歩車分離率※2	%	73.9	2.2	76.1	82
整備延長	km	258.4	7.6	266.0	288.8
自転車通行空間の整備延長	km	122.7	9.8	132.5	160
都市計画道路の整備率	%	84.7	0.2	84.9	86.1
都心部を回遊する歩行者量※3	人	41,310 ^{※4}	—	—	46,000
無電柱化計画に基づく無電柱化整備延長	km	150.3	5.9	156.2	168
橋梁の長寿命化修繕計画に基づく橋梁修繕数	橋	176	14	190	234
道路照明灯のLED化率※5	%	86	2	88	95
LED照明灯数	基	32,845	480	33,325	36,151
地域が設置する防犯灯のLED化率※6	%	89	5	94	100
LED防犯灯数	基	39,125	2,700	41,825	44,193
市民等との共働による道路の保全活動団体数※7	団体	11	4	15	25

※1 バリアフリー化された延長÷生活関連経路全延長39.2km（直轄道路、臨港道路等除く）

※2 通学路を含む小学校から半径250mの道路（幅員5.5m以上）のうち、歩車分離された延長÷全延長349.6km

※3 天神と博多を結ぶ7つの橋の断面歩行者量の合計

（7:00～20:00、西大橋・福博であい橋・中洲懸橋・春吉橋・灘の川橋・住吉橋・柳橋）

※4 新型コロナウイルス感染症の影響により、R2年度は計測していないため、R1年度の数値を据え置き

※5 LED照明灯数÷市管理の照明灯数

※6 LED防犯灯数÷地域の防犯灯数

※7 道路サポーター制度の登録団体数

2. 都市計画道路の整備状況

項目		令和2年度末 見込	令和3年度末 予定	前年比
計画道路延長	km	505.8	505.8	—
整備済延長	km	428.6	429.2	0.6
整備率	%	84.7	84.9	0.2

3. 令和3年度の主な整備完了予定箇所

香椎花園線（香住ヶ丘）	L=	140m
周船寺有田線（橋本2）	L=	190m
大原周船寺停車場線（周船寺駅交差点）	L=	102m
大原周船寺停車場線（周船寺駅前）	L=	46m

西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）

1. 目的

踏切での交通渋滞や事故の解消を図り、鉄道により分断された市街地を一体化するなど、沿線地域の良好な住環境を形成するため鉄道の高架化を行うもの。また、併せて側道整備を行い、沿線の交通の利便性や安全性を高めるとともに、駅へのアクセス性を高め、公共交通の利用促進を図るもの。

2. 事業概要

事業 内容	延 長	L=1,864m		
	区 間	博多区南八幡町二丁目 ～ 博多区西春町二丁目		
	除却踏切数	7箇所（うちボトルネック踏切5箇所）	立体交差道路	11箇所
	施行方法	仮線方式及び直上方式		
事業年度		平成22年度～令和5年度 ※県事業区間(春日原～下大利)遅延のため、延伸予定		
全体事業費		約415億円（福岡市負担約345億円、西鉄負担約70億円）		

3. 進捗状況

年 度	内 容
平成19年度	都市計画決定（平成20年3月24日）
平成22年度	都市計画事業認可（平成22年7月23日）基本協定締結（平成22年11月2日）
平成23年度	工事着手（平成24年1月）
平成26年度	新駅に関する都市計画変更（平成26年4月3日）
平成27年度	新駅に関する都市計画事業認可変更（平成27年7月3日）
平成28年度	仮線路へ切替（平成29年3月11日）
平成29年度	雑餉隈駅 仮平面駅 利用開始（平成30年1月27日）
平成30年度	筑紫通り（麦野跨線橋）仮設道路切替（平成31年2月10日）
令和 4年度	高架切替及び筑紫通り供用（予定）

4. 令和3年度 事業費及び事業内容

事業費・進捗率

（単位：百万円）

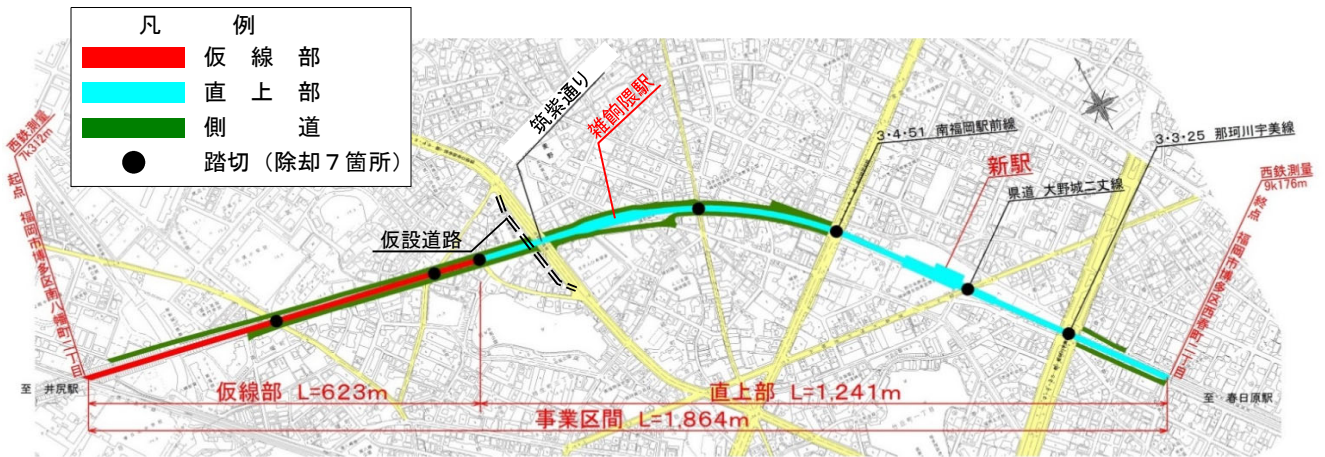
	令和3年度	令和2年度末	令和3年度末
事業費	685	32,022	32,707
進捗率(%)	—	92.8%	94.8%

事業内容

項 目	内 容
工事・補償	<ul style="list-style-type: none"> ・高架橋工事 ・跨線橋撤去工事（令和3年2月 線路直上部の撤去に着手） ・筑紫通り工事 等

5. 平面図等

●平面図

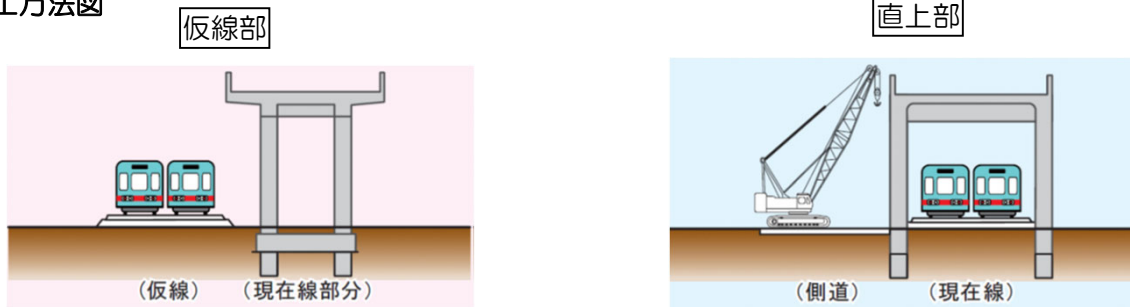


●踏切事故件数 (事業区間内7箇所)

◇事業認可時 (平成12~21年度)

11件 (うち死亡事故 6件)

●施工方法図



●関連事業 (福岡県施行連続立体交差事業)



福岡高速3号線延伸事業

1. 目的

福岡空港の滑走路増設等の機能強化を見据え、福岡市の南部地域や太宰府方面から空港へのアクセス強化による利便性の向上を図り、空港周辺道路の混雑緩和にも資するもの。

2. 事業概要

事業内容	路線名	福岡高速3号線			
	計画概要	規模(延長)	約1.8km (連結路約0.4kmを含む)	主たる構造	高架構造 トンネル構造
		車線数	4車線	道路の区分	第2種第2級
		設計速度	60km/h	JCT/出入口	豊ジャンクション (仮称)空港北口ランプ
事業年度	令和3年度～令和12年度(予定)				
事業主体	福岡北九州高速道路公社(有料道路事業)				
概算建設費	約470億円(公社経費約62億円は含まない)				

3. 進捗状況

年 度	内 容
平成27年度	都市計画決定に向けた検討に着手 市道路線認定(平成28年1月14日) 福岡北九州高速道路公社 基本計画変更認可(平成28年3月28日)
令和2年度	都市計画決定(令和2年6月29日) 自動車専用道路指定(令和2年7月31日)
令和3年度	福岡北九州高速道路公社 整備計画変更許可 都市計画事業認可
令和12年度	工事完成(予定)

4. 令和3年度 事業費及び事業内容

事業費 (単位:百万円)

	令和3年度
有料道路事業 (公社経費を含む)	680
市貸付金(17.5%)	119
市出資金(7.5%)	51
進捗率	1.3%

事業内容

項 目	内 容
測量・設計	測量・地質調査及び設計

5. 概要図及びイメージ図

概要図



イメージ図



自転車活用の推進

1. 福岡市自転車活用推進計画の基本方針と施策

自転車通行環境の創出

基本方針:安全で快適な通行環境づくり

はしる

(1)安全で快適な自転車通行環境の創出

施策1:自転車通行空間の整備

施策2:違法駐車 of 積極的な取締り

施策3:自転車走行ルートの誘導案内

(2)安心して走行できる自転車通行空間ネットワークの形成

施策4:ビッグデータなどを収集し、利用実態に応じた自転車通行空間ネットワークの検討

駐輪環境の整備

基本方針:利用しやすい駐輪環境づくり

とめる

(1)民間等との共働による利用しやすい駐輪場の整備

施策5:市営駐輪場の整備・更新

施策6:民間駐輪場の整備促進

(2)駐輪場の利便性向上

施策7:案内マップや案内サインの設置

施策8:ICTなどを活用した駐輪情報システムの整備

施策9:多様な駐輪ニーズへの対応

施策10:駐輪サービスの向上

自転車利用の適正化

基本方針:適正な自転車利用の促進

まもる

(1)適正な走行ルールの周知・徹底とマナーの向上

施策11:責任・義務の徹底、啓発活動の推進

施策12:街頭指導の強化、地域における交通安全活動の担い手の確保

(2)安全・安心な自転車利用の促進

施策13:自転車損害賠償保険等への加入促進

施策14:自転車点検整備等の促進

(3)放置対策の推進及び駐輪マナーの向上

施策15:啓発活動による適正な自転車利用

施策16:定期的な撤去の実施

施策17:ICTを活用した放置自転車対策の検討

自転車の活用

基本方針:自転車を活用したまちづくり

いかす

(1)自転車に親しむ機会の創出

施策18:サイクルツーリズムの推進

施策19:サイクリスポーツの普及促進

施策20:自転車を活用した健康づくり

(2)自転車を活用したまちづくりの推進

施策21:シェアサイクルを活用したまちづくりや観光促進

施策22:災害時における自転車活用

施策23:自転車利用等に関する情報提供の充実強化

※赤字は、新たに取り組む施策

2. 福岡市自転車活用推進計画（R3～R6）の状況

成果指標			令和2年度末 見込	令和3年度 事業量	令和3年度末 予定	令和6年度末 目標
は し る	自転車通行空間 整備延長	km	122.7	9.8	132.5	160
	駐輪場整備台数	台	-	360	360	1,000
と め る	路上駐輪場 設置台数	台	4,933	▲100	4,833	4,500
	自転車放置率	%	1.6	-	現状維持	現状維持
ま も る	保管自転車の 返還率	%	61.3 (令和元年度)	-	62	65

※局予算関連分を抜粋

3. 令和3年度 事業費及び事業内容

事業費

(単位：百万円)

区 分	令和3年度			令和2年度	
自転車通行空間整備関連	259		「はしる」 259	206	
駐輪場整備関連	411		「とめる」 1,545	384	
放置自転車対策関連	1,354	1,134	「まもる」 220	1,241	1,028
		220			213
合 計	2,024			1,831	

※当初予算ベース

※「まもる」、「いかす」については別途他局予算あり

事業内容

〇はしる ～自転車通行環境の創出～

(単位：百万円)

事 業	令和3年度	事業内容
自転車通行空間 の整備	259	自転車を安全かつ円滑に通行させ、また自動車と歩行者の安全を確保するため、自転車通行空間の整備を行う。 〇国道385号、市道清水干隈線（福大通り）等

〇とめる ～駐輪環境の整備～

(単位：百万円)

事 業	令和3年度	事業内容
駐輪場の整備	411	まちづくりの進展の機会を捉え、市営駐輪場の整備を行う。 〇（仮称）七隈線中間駅駐輪場 駐輪台数：約300台 供用時期：令和4年度（予定）
駐輪場の管理運営	1,134	〇指定管理料等：1,016 〇施設修繕等：60 など
計	1,545	

〇まもる ～自転車利用の適正化～

(単位：百万円)

事 業	令和3年度	事業内容
放置自転車対策	109	〇撤去：49 〇保管所運営：60
モラルマナー啓発	107	〇街頭指導：92 など
その他	4	〇路面シート：3 など
計	220	

交通安全対策

1. 目的

「福岡市通学路交通安全対策プログラム」に基づき、学校、保護者、地域、各関係機関が連携・協力し、引き続き通学路の交通安全対策に取り組むとともに、小学校から半径250m以内の道路においても、誰もが安心して歩ける歩行空間の整備を重点的に取り組む。また、全国的な交通事故の状況を踏まえ、引き続き交差点等の交通安全対策を実施する。さらに、オープンデータ等を活用した交通安全対策の検証結果を踏まえ、試行的に対策を実施する。

2. 事業概要

施 策	内 容
交通安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市通学路交通安全対策プログラムに基づいた通学路の交通安全対策 ・小学校周辺の歩車分離 ・未就学児等の交通安全緊急対策 ・交差点の交通安全対策 ・オープンデータ等を活用した交通安全対策 等

3. 令和3年度事業費

(単位：百万円)

施 策	事 業 費	
	令和3年度	令和2年度
交通安全対策	2,375	3,443

4. 事業内容

下記事業については、令和3年度に取り組む主な事業である。

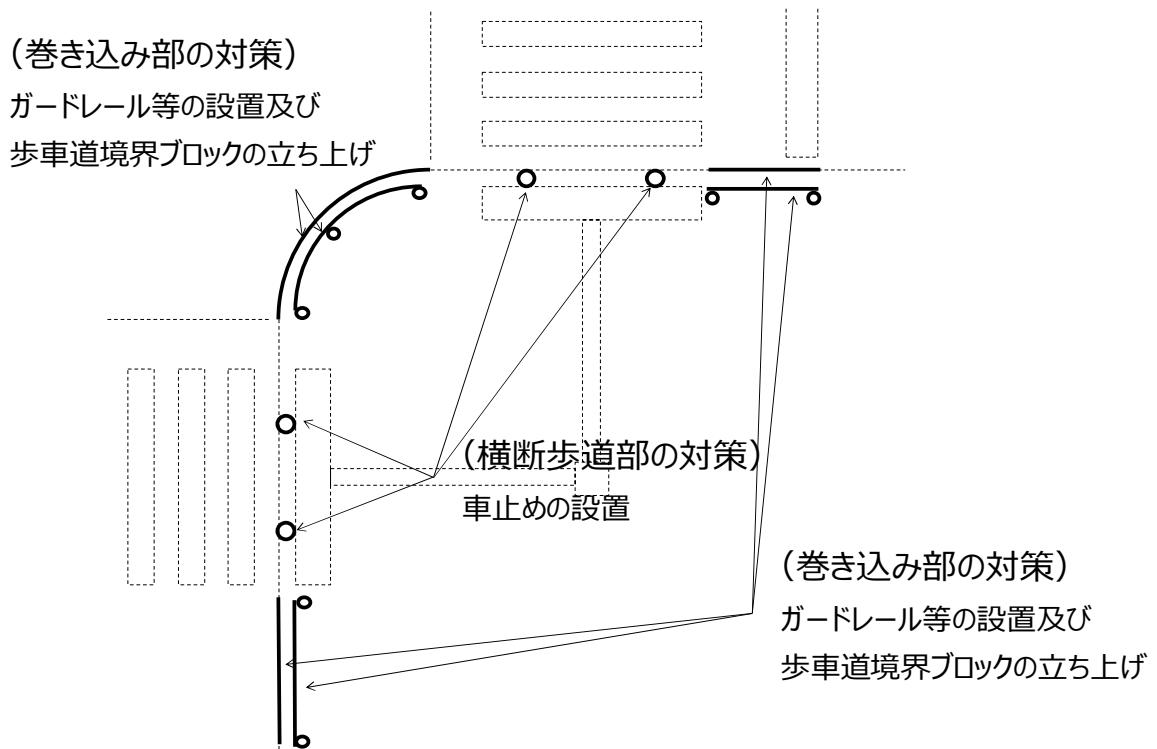
施 策	内 容
通学路の交通安全対策	<p>〈事業概要〉 通学路については、これまでの安全対策に加え、「福岡市通学路交通安全対策プログラム」に基づき、引き続き重点的に取り組む。</p> <p>〈R3年度事業内容〉 歩道整備、路側のカラー化 等</p>
小学校周辺の歩車分離	<p>〈事業概要〉 通学路を含む小学校から半径250m以内の道路において、誰もが安心して歩ける歩行空間の整備を重点的に取り組む。</p> <p>〈R3年度事業内容〉 歩道整備、路側のカラー化、防護柵の設置 等</p>
未就学児等の交通安全緊急対策	<p>〈事業概要〉 未就学児等の交通安全緊急対策については、危険箇所の抽出結果を踏まえ、道路管理者が実施する要対策箇所227箇所のうち、令和2年度までに206箇所の対策が完了予定である。</p> <p>〈R3年度事業内容〉 防護柵・車止めの設置、路側のカラー化 等</p>
交差点の交通安全対策	<p>〈事業概要〉 大津市の事故現場と類似した153箇所の交差点の抽出を行い、令和3年度は、交差点の巻き込み部11箇所及び横断歩道部66箇所の交通安全対策を実施し、令和5年度迄に対策を完了させる見込み。</p> <p>〔令和2年度までに、 巻き込み部 対策必要箇所116箇所のうち、101箇所完了見込 横断歩道部 対策必要箇所153箇所のうち、24箇所完了見込〕</p> <p>〈R3年度事業内容〉 防護柵・車止め・歩車境界ブロックの設置 等</p>
オープンデータ等を活用した交通安全対策	<p>〈事業概要〉 オープンデータ等を活用することで、潜在的な事故を未然に防ぐ「予防的対処」の事故防止対策を進める。</p> <p>〈R3年度事業内容〉 オープンデータ等を活用した交通安全対策を試行的に実施</p>

《参考》

○整備イメージ



○交差点の交通安全対策（対策イメージ）
「横断歩道部」及び「巻き込み部」について対策を進める。



治水対策事業（主要な河川整備）

1. 目的

雨水排水の根幹である河川の改修を推進することで、大雨による河川の氾濫を防止し、浸水被害の軽減を図る。

2. 事業概要

二級河川 (都市基盤河川)	河川名	周船寺川、水崎川、金屑川
	全体事業延長	16,805m
	全体事業費	約519億円
準用河川	河川名	若久川、香椎川、浜男川
	全体事業延長	2,740m
	全体事業費	約53億円

3. 進捗状況

項目	令和3年度 改修延長(m) (予定)	令和2年度末 改修延長(m) (見込)	令和3年度末 (予定)	
			改修延長(m)	改修率(%)
二級河川 (都市基盤河川)	110	12,521	12,631	75.2%
準用河川	60	800	860	31.4%

4. 令和3年度 事業費及び事業内容

事業費及び進捗率

(単位：百万円)

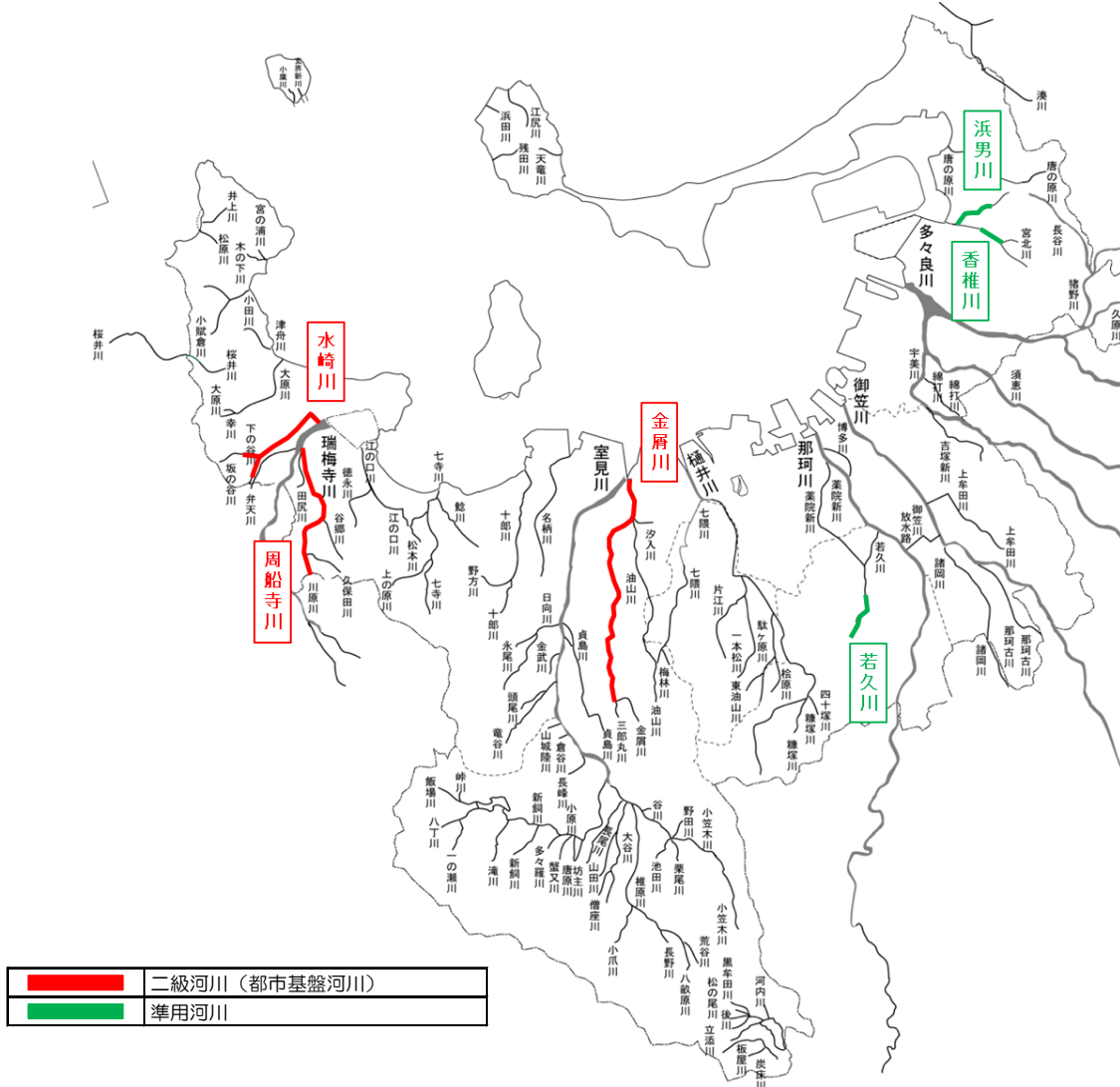
項目		令和3年度 (予定)	令和2年度末 (見込)	令和3年度末 (予定)
二級河川 (都市基盤河川)	事業費	362	43,445	43,807
	進捗率(%)	—	83.7%	84.4%
準用河川	事業費	33	1,484	1,517
	進捗率(%)	—	27.9%	28.6%

事業内容

項目	内容
二級河川 (都市基盤河川)	<ul style="list-style-type: none"> ・周船寺川 護岸工40m、橋梁1橋、借地等 ・水崎川 護岸工120m、橋梁1橋、借地等 ・金屑川 護岸工60m
準用河川	<ul style="list-style-type: none"> ・若久川 測量 ・香椎川 支障物件移設 ・浜男川 低水路工60m

5. 位置図

治水対策事業河川

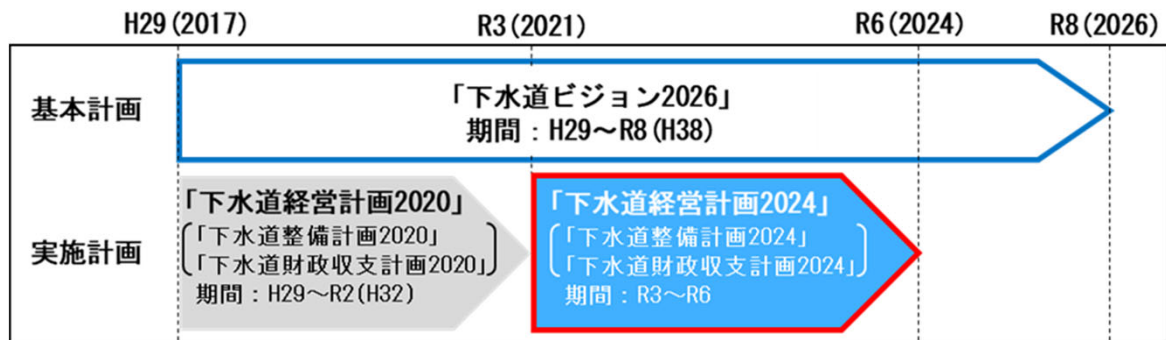


6. 各河川ごとの進捗状況

項目	事業期間	令和3年度末 進捗状況（予定）						
		全体事業延長 (m)	改修率（対延長）		全体事業費 (百万円)	進捗率（対事業費）		
			改修延長(m)	改修率(%)		事業費(百万円)	進捗率(%)	
二級河川 (都市基盤河川)	周船寺川	H13~R10	4,580	2,315	50.5%	15,569	10,762	69.1%
	水崎川	H10~R3	3,810	3,810	100.0%	10,360	9,963	96.2%
	金屑川	S46~R19	8,415	6,506	77.3%	26,000	23,082	88.8%
	合計		16,805	12,631	75.2%	51,929	43,807	84.4%
準用河川	若久川	H31~R9	1,160	0	0.0%	1,852	24	1.3%
	香椎川	H26~R7	720	0	0.0%	2,261	326	14.4%
	浜男川	H19~R5	860	860	100.0%	1,200	1,167	97.3%
	合計		2,740	860	31.4%	5,313	1,517	28.6%

下水道経営計画2024

1. 「下水道経営計画2024」の位置付け



2. 「下水道経営計画2024」の事業方針

ア 持続的発展可能な下水道システムの構築

- (ア) 都心部の下水道システムの再構築に着手
- (イ) 管渠の改築更新（アセットマネジメント）の強化・推進
- (ウ) 下水道事業会計に係るシステムの刷新
- (エ) IoT・AIを活用した新技術の導入によるコスト削減の検討
- (オ) 下水による感染症流行検知の研究
- (カ) 人材育成の推進

イ 災害に強い下水道

- (ア) 浸水対策の推進
- (イ) 地震対策の推進
- (ウ) 下水道BCPの充実・強化（地震、水害、感染症流行に備えた対応検討）
- (エ) 支援・受援体制等の充実・強化、訓練の継続実施

ウ 健全な水環境の創出

- (ア) 合流式下水道の改善
- (イ) 新たな開発区域における下水道整備の実施

エ 脱炭素・循環型社会への貢献

- (ア) 下水汚泥固形燃料化施設の安定運用
- (イ) 再生可能エネルギーの有効活用（固形燃料、下水熱、水素、発電）
- (ウ) 再生水利用の推進

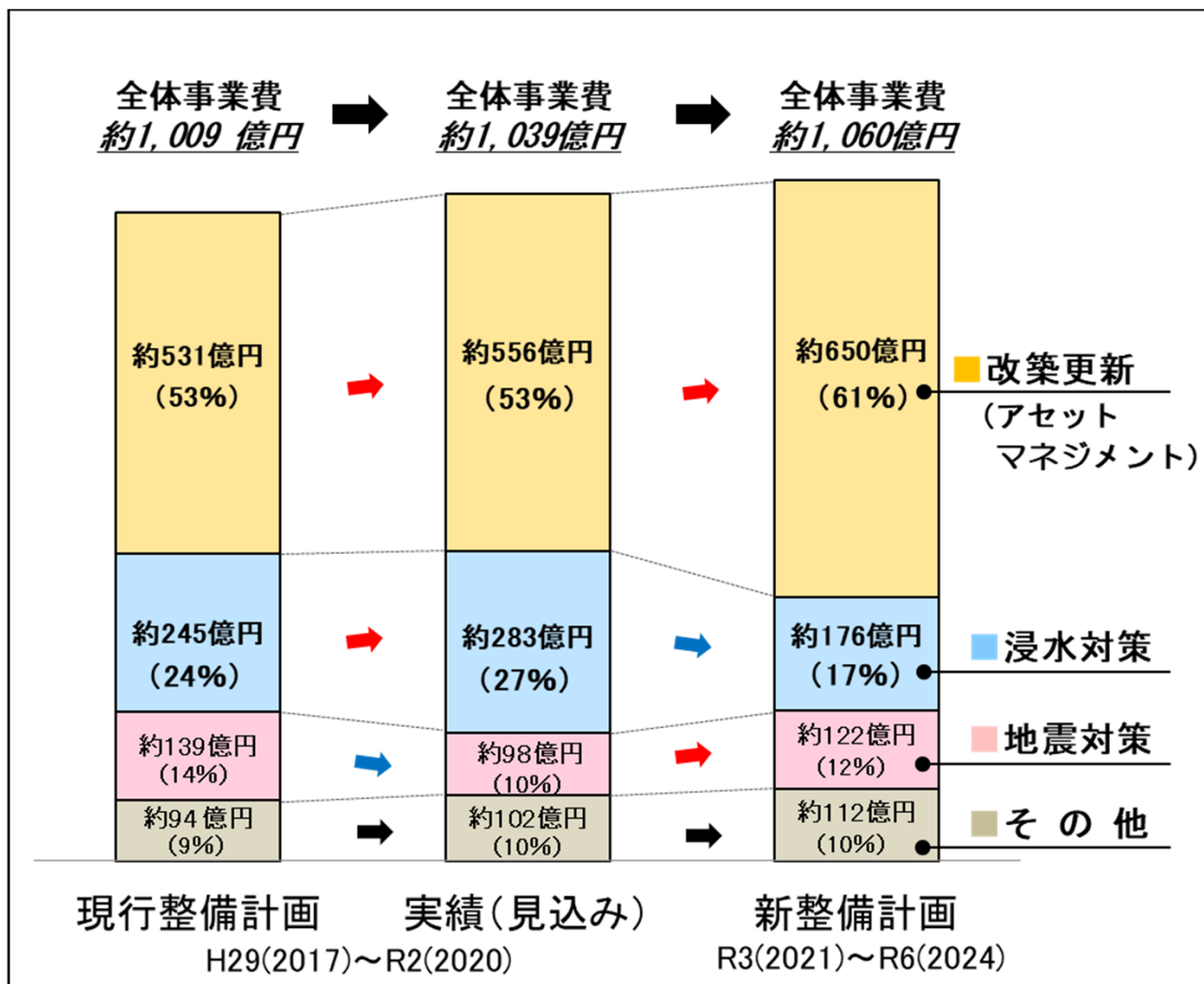
オ 身近な下水道

- (ア) リニューアルした下水道PR施設の活用
- (イ) 施設見学会・イベントなどの開催、SNSなど多様な媒体による広報活動

カ 地域活性化への貢献

- (ア) 官民連携による下水道技術の研究・開発
- (イ) 国際貢献・官民連携によるビジネス展開の推進

3. 現行整備計画と新整備計画の事業費比較



4. 「下水道財政収支計画2024」の概要

下水道使用料収入については、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、減収となる見込みであり、新経営計画の4年間においても、この状況は続くものと想定している。

公共下水道整備費については、現行整備計画の実績と同規模程度の約1,060億円を確保する予定である。

単年度損益については、現行経営計画と比べ減少することが見込まれるが、一定の利益は確保できる見通しであり、企業債残高についても、企業債の発行抑制に努めることで、縮減を進めることができる見通しである。

これらのことにより、新経営計画の4年間においても、現行の使用料体系のもとで経営を健全に維持できる見込みである。

5. 「下水道整備計画2024」の概要

○ 整備方針

下水道サービスを次の世代にも安定的・継続的に提供するため、老朽化施設の「改築更新（アセットマネジメント）」を最重点で進める。

また、災害に強い下水道の観点から、大規模な都市型水害への対応など、さらなる強靱化を図るため、「浸水対策」や「地震対策」を積極的に進める。

○ 主な整備目標等

施策	指標名	単位	令和3年度 事業量(予定)	令和3年度末 累計(予定)	4年間の 整備目標 (令和3年度～ 6年度)
改築更新 (アセット マネジ メント)	管 渠	km	35	35	140
	ポンプ場	箇所	3(※1) (14)	3	13
浸水対策	雨水整備D○プラン2026 (重点地区：完了地区)	地区	4	4	19
	雨水整備 レインボープラン天神	—	第2期事業 実施	第2期事業 実施	第2期事業 実施
地震対策	管 渠	km	6	6	26

(※1) ポンプ場の改築更新の予定14箇所のうち、令和3年度に新たに着手する施設は3箇所

下水道施設の資産マネジメント（改築更新）

1. 目的

下水道の役割を適切に果たし、市民の暮らしを支え続けるため、老朽化が進行する下水道施設の改築更新を計画的に進める。

2. 事業概要

基本方針	下水道施設のライフサイクルコストの最小化の観点から、適切な長寿命化を図るとともに、計画的な改築更新を進める。特に、施設の整備時期が早く、老朽化の進んだ都心部について重点的な改築更新に取り組む。
事業費	約650億円（下水道経営計画2024 令和3年度～6年度）

3. 令和3年度 事業費及び事業内容

事業費及び進捗率

（単位：百万円）

	令和3年度 （予定）	令和3年度末累計 （予定）
事業費	16,110	16,110
管 渠	8,051	8,051
ポンプ場	1,694	1,694
水処理センター	6,365	6,365
進捗率(%)	—	24.8%

事業内容

項 目	主 な 施 設 また は 箇 所
管 渠	35km：天神幹線、多の津、博多駅東、大名、長住、荒江、百道
ポンプ場	城浜（電気）、坂本町（建築）、鳥飼（電気）
水処理センター	西戸崎（電気）、和白（電気）、東部（機械）、中部（機械）、西部（機械）

雨水整備Dプラン2026（新たな重点33地区）

1. 目的

平成11年6月29日の豪雨で、浸水被害が重大であった地区について、重点的に雨水対策に取り組んできた。令和元年度からは、重点地区（※）を拡大し策定した「雨水整備Dプラン2026」に基づき、引き続き雨水対策を進める。

※重点地区の定義 平成元年度から30年度までの期間に、1回の降雨で5棟以上の浸水被害が発生した地区

2. 事業概要

対象地区	33地区
整備水準	59.1mm/hr（10年確率）
事業費	約66億円（下水道経営計画2024 令和3年度～6年度）

3. 進捗状況

年 度	進 捗 状 況
令和3年度 （予定）	完了：4地区（友丘、賀茂、小戸、田尻）

4. 令和3年度 事業費及び事業内容

事業費及び進捗率

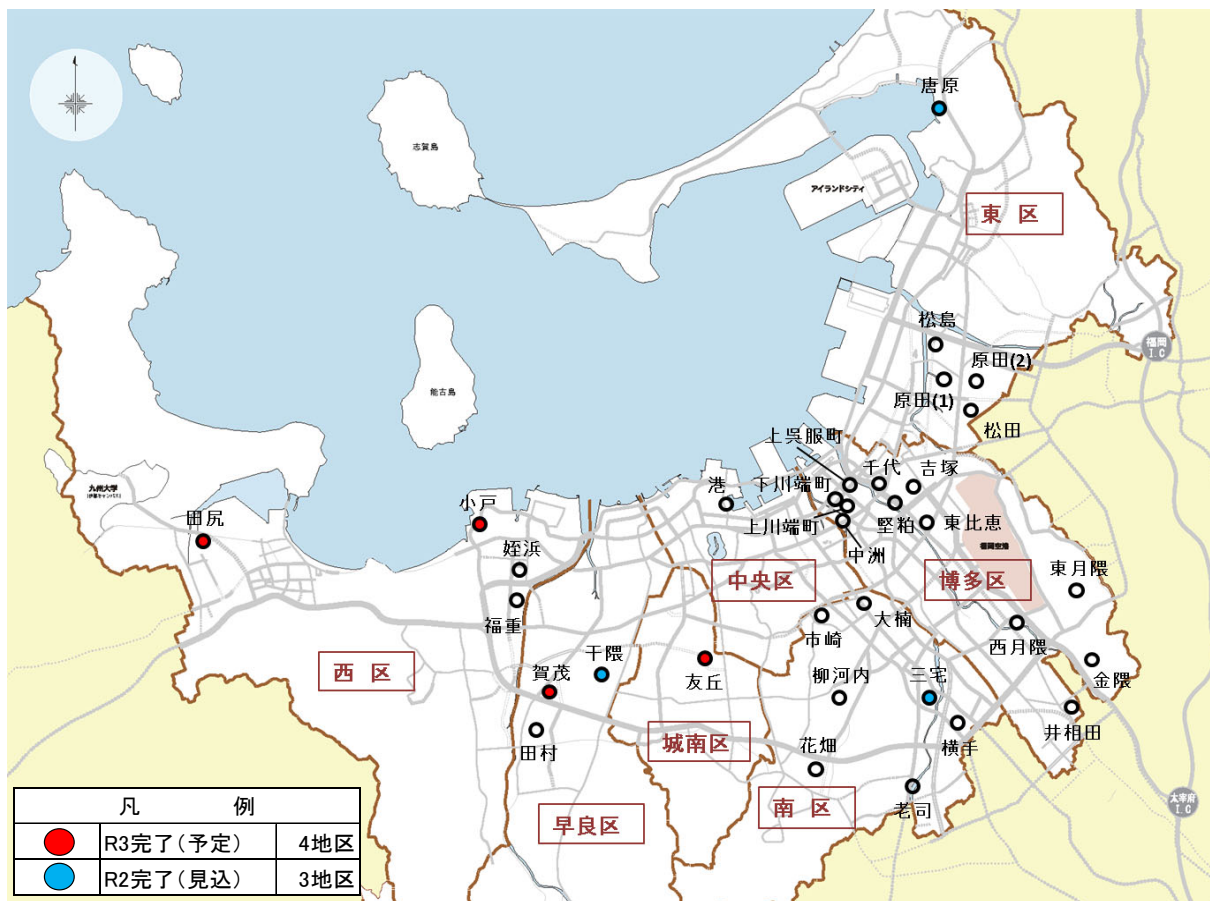
（単位：百万円）

年 度	令和3年度 （予定）	令和3年度末累計 （予定）
事 業 費	1,177	1,177
進 捗 率（％）	—	17.7%

事業内容

項 目	主 な 施 設
管 渠	七隈第6雨水幹線（城南区：友丘地区） 周船寺第1雨水幹線（西 区：田尻地区） ※継続

5. 重点地区の箇所図



(参考) 雨水整備Dプラン2026 重点地区の進捗状況

行政区	重点地区数 (A)	着手地区数	完了地区数				進捗率 (B) / (A) (%)	令和3年度 完了地区 (予定)
			R2年度末 (見込)	R3年度末 (予定)	R3年度末 (累計) (B)			
東 区	5地区	5	1		1	20.0		
博多区	12地区	12				0.0		
中央区	1地区	1				0.0		
南 区	7地区	7	1		1	14.3		
城南区	1地区	1		1	1	100.0	工事 (友丘)	
早良区	3地区	3	1	1	2	66.7	工事 (賀茂)	
西 区	4地区	4		2	2	50.0	工事 (小戸、田尻)	
計	33地区	33	3	4	7	21.2		

雨水整備レインボープラン天神

1. 目的

都心部である天神周辺地区は、地下空間利用が高度に進み、都市機能が集積していることから、浸水による影響が極めて大きいため、雨水整備水準を引き上げて、雨水対策を強化した「雨水整備レインボープラン天神」により、浸水に対する安全度の向上を図る。

2. 事業概要

段階的に整備を進めており、平成30年度までに第1期事業が完了し、令和元年度から、第2期事業を実施している。

対象区域	約180ha	(第2期)〔全体計画：約260ha〕
整備水準	59.1mm/hr (10年確率)	(第2期)〔全体計画：79.5mm/hr〕
事業費	約89億円(下水道経営計画2024 令和3年度～6年度)	

3. 進捗状況

年度	進捗状況
令和3年度(予定)	中部9号幹線、今泉地区準幹線 ※継続

4. 令和3年度 事業費及び事業内容

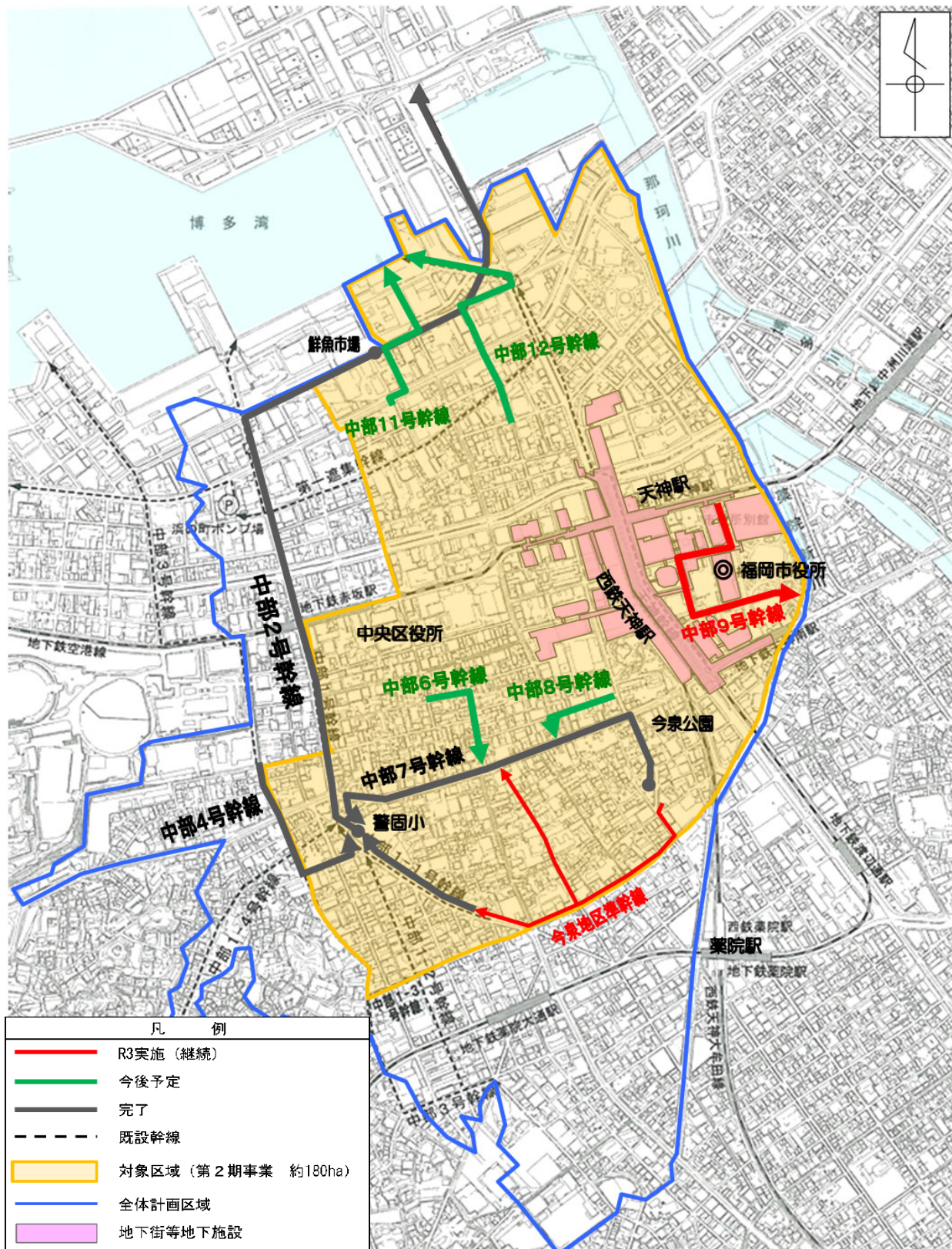
事業費及び進捗率 (単位：百万円)

年度	令和3年度(予定)	令和3年度末累計(予定)
事業費	2,526	2,526
進捗率(%)	—	28.3%

事業内容

項目	主な施設
管渠	中部9号幹線、今泉地区準幹線 ※継続

5. 事業平面図



地震対策（下水道）

1. 目的

地震時における最低限の下水道機能を確保するため、施設の耐震化等を進める。

2. 事業概要

対 象	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送路下などの重要な幹線管渠等（主に内径800mm以上） ・ポンプ場、水処理センター
事業費	約122億円（下水道経営計画2024 令和3年度～6年度）

※小口径管渠は、アセットマネジメント（改築更新）にて対応

3. 進捗状況

年 度	令和3年度 事業量（予定）	令和3年度末 累計（予定）	4年間の整備目標 （令和3年度～6年度）
管 渠	6km	6km	26km

4. 令和3年度 事業費及び事業内容

事業費及び進捗率

（単位：百万円）

年 度	令和3年度 （予定）	令和3年度末累計 （予定）
事 業 費	2,908	2,908
進捗率(%)	—	23.8%

事業内容

項 目	主 な 施 設
管 渠	管松香椎污水幹線、比恵1号幹線、六本松幹線
ポンプ場	浜の町、城西
水処理センター	中部

(参考) 地震対策

1. 事業の進め方

下水道施設は、災害時においても、最低限の機能を確保する必要があり、ポンプ場・水処理センターやそれらを連結する重要な幹線管渠等の耐震化を推進している。

また、被災した場合でも、下水道機能の確保、早期復旧を可能とするため、下水道BCP（業務継続計画）を充実・強化している。

●管渠

管渠については、緊急輸送路下などの重要な幹線管渠等（※）を中心に耐震診断や耐震補強（管更生）を実施する。また、管渠の重要度や老朽度を踏まえ優先順位を決定し、計画的に進める。

※ 重要な幹線管渠等

- ①軌道や緊急輸送路下等の埋設管路
- ②ポンプ場・水処理センター、吐口に直結する幹線管路
- ③水処理センターと防災拠点（役所、避難所等）をつなぐ流末管路 など

(施工写真)



(施工前)



(施工後)

●水処理センター・ポンプ場

水処理センター・ポンプ場については、耐震診断の結果を踏まえ、施設の重要度を考慮して計画的な対策を進める。

人命保護の観点から有人施設の建築物を最優先に対策を実施してきた。土木構造物については、被災した場合に必要な最低限の汚水処理機能を確保する観点から段階的な対策を実施する。



▲耐震補強したポンプ場



内部の様子

(参考) 道路現況、河川整備状況、下水道普及状況

○道路現況 (市管理分)

(令和2年4月1日現在)

区分	道路		橋梁数
	路線数	道路延長 (m)	
国道	3	30,764	25
県道	49	255,664	214
市道	22,448	3,583,654	1,790
合計	22,500	3,870,082	2,029

○河川整備状況

区 分	箇所数	全体延長 (m)	令和3年度末 (予定)	
			延長 (m)	改修率 (%)
二級河川 (都市基盤河川)	20	54,230	49,920	92.1%
準用河川	25	49,670	39,001	78.5%
普通河川	64	64,850	41,472	64.0%
合計	109	168,750	130,395	77.3%

※二級河川(都市基盤河川)とは、市域内二級河川(県管理)42河川のうち、市で改修を行うために指定した河川である。

○下水道普及状況

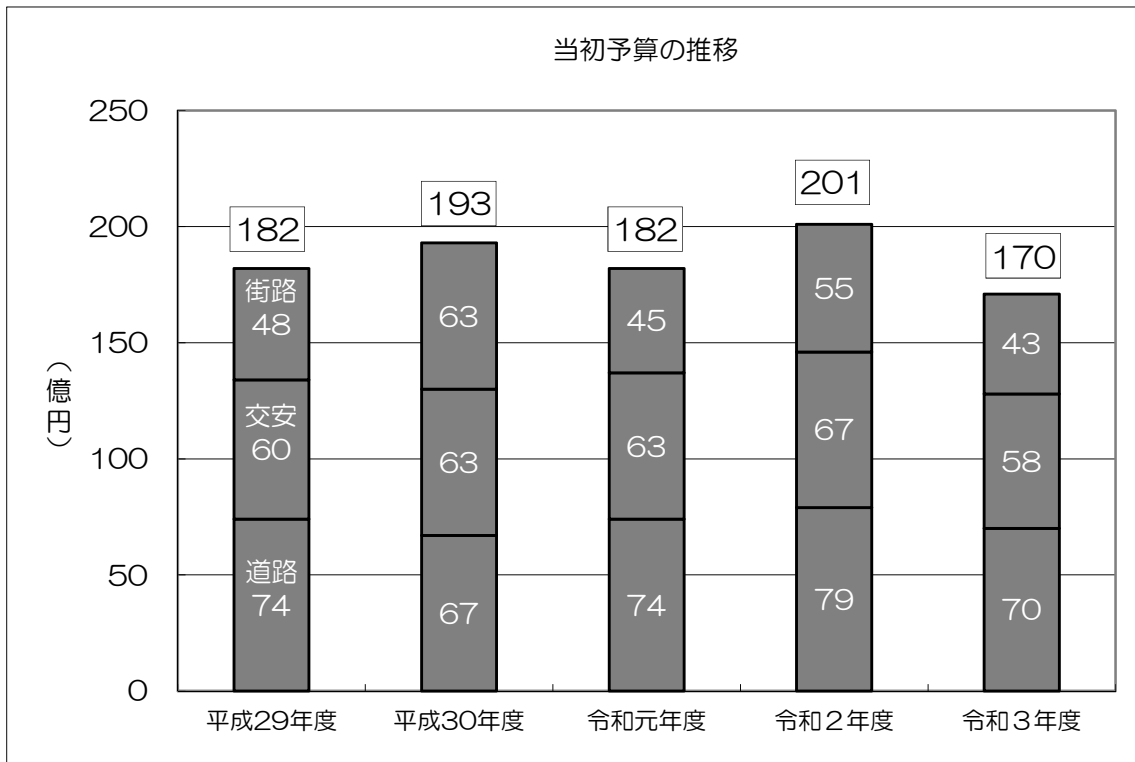
(令和2年4月1日現在)

処理面積	17,064ha
処理人口	1,592,110人
人口普及率	99.7%

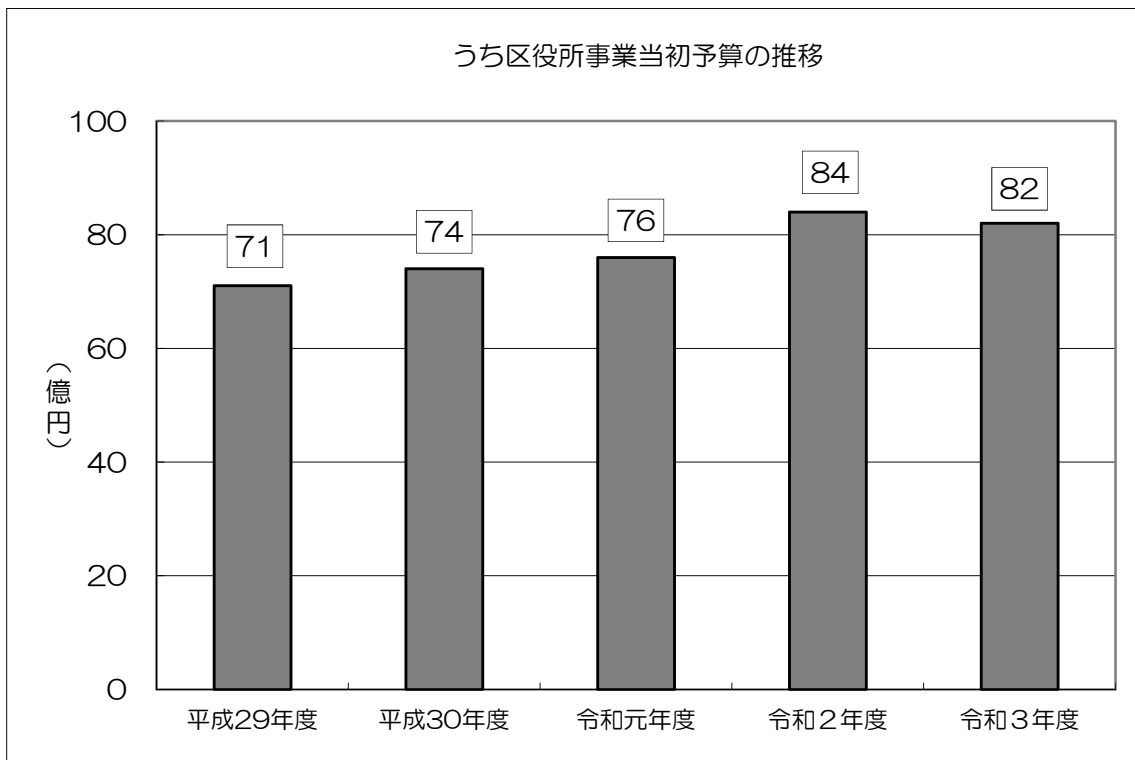
※公共下水道は、99.7%で概成である。残る0.3%は、農業漁業集落排水事業等である。

(参考) 道路下水道局における整備予算の推移

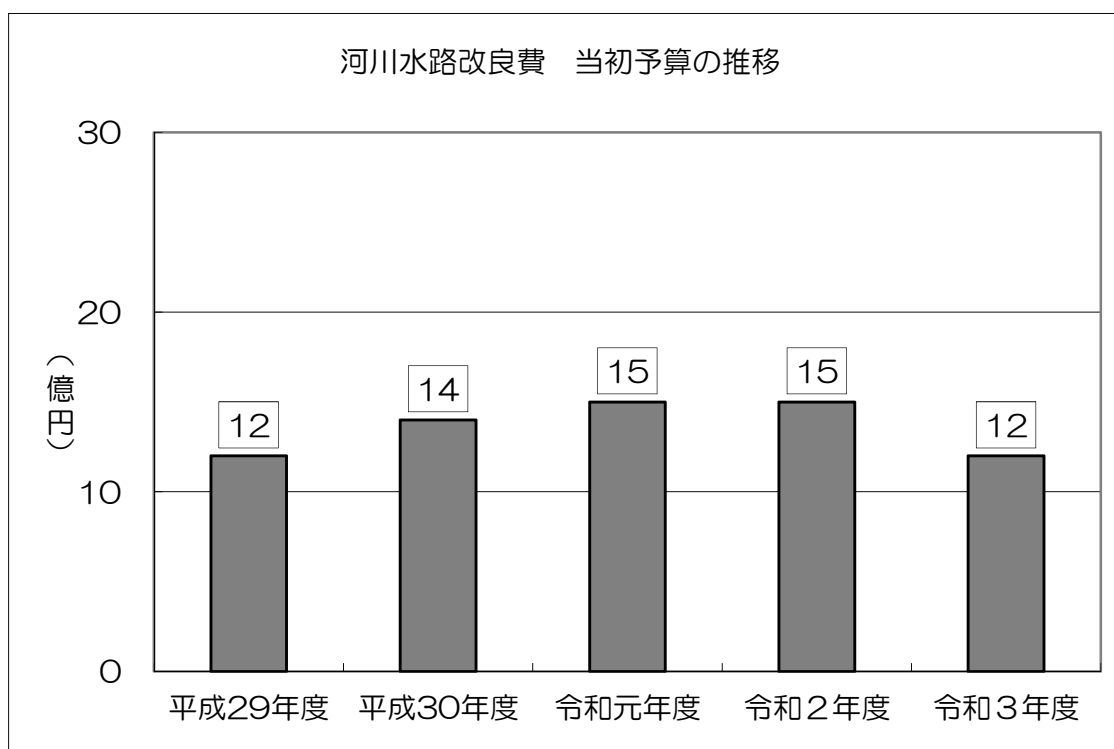
1. 道路整備事業



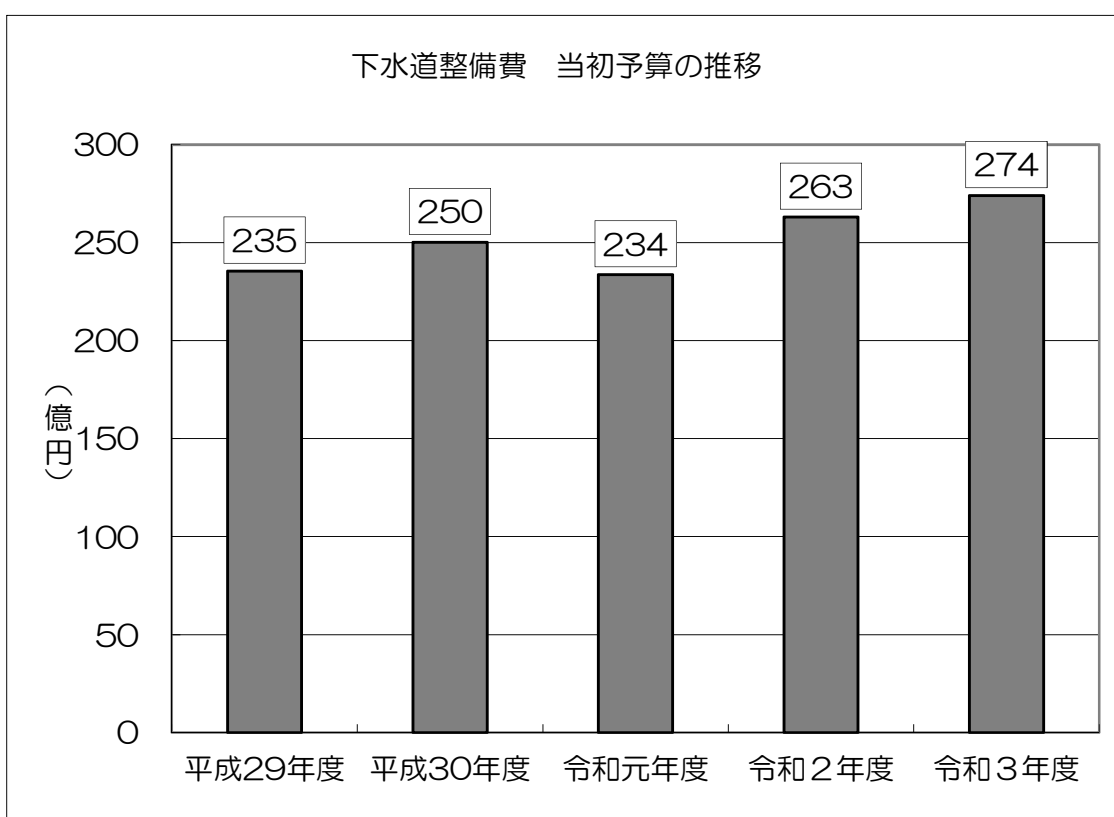
※道路新設改良費、交通安全施設等整備事業費、街路新設改良費の合計
※四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある



2. 河川整備事業



3. 下水道整備事業



令和3年度 主な新規着手・整備完了予定箇所





凡 例	
●	新規着手予定箇所
●	整備完了予定箇所

主な新規着手予定箇所

【道路】

区	路線名	区間	現況幅員 (m)	計画幅員 (m)	事業延長 (m)	番号	備考
博多	福岡高速3号線	東光2丁目 ~大字下臼井	-	19	1,800	1	都市高速道路

【河川】

区	施設名	概要	番号	備考
南	源蔵池	治水池整備	2	治水対策

【下水道】

区	施設名	概要	番号	備考
博多	比恵1号幹線(4)	□2,950mm×2,100mm L=120m	3	地震対策
中央	天神幹線(2)	□2,100mm×2,000mm L=200m	4	改築更新
城南	七隈第6雨水幹線	○1,350mm L=50m	5	浸水対策

主な整備完了予定箇所

【道路】

区	路線名	区間	現況幅員 (m)	計画幅員 (m)	供用延長 (m)	番号	備考
東	香椎花園線 (香住ヶ丘)	香住ヶ丘7丁目	8	12	140	1	拡幅整備
中央	後野福岡線	清川1丁目 ~高砂2丁目	-	30	400	2	自転車通行空間
南	国道385号	大橋1丁目 ~野多目1丁目	-	22	1,900	3	自転車通行空間
城南	清水干隈線	干隈1丁目 ~七隈4丁目	-	16	1,000	4	自転車通行空間
西	周船寺有田線 (橋本2)	橋本2丁目	6	22	190	5	拡幅整備
	大原周船寺停車場線 (周船寺駅前交差点)	周船寺2丁目	11	16	102	6	拡幅整備
	大原周船寺停車場線 (周船寺駅前)	周船寺1丁目	7	16	46	7	拡幅整備

【河川】

区	施設名	概要	番号	備考
東	浜男川	護岸工事 L=860m	8	治水対策

【下水道】

区	施設名	概要	番号	備考
東	和白唐の原 污水幹線(1)	○1,800mm L=420m	9	地震対策
西	周船寺 第1雨水幹線	○2,000mm L=630m	10	浸水対策